

# Akashi Shimizu

兵庫県立明石清水高等学校 同窓会

# 清湧会

AKASHI SHIMIZU Senior High School News



2026.2 vol.9  
Feb

発行日：令和8年2月 発行：兵庫県立明石清水高等学校同窓会

## 第44回生(令和8年3月卒業)

- 同窓会会則…………… 2
- 清湧会役員…………… 3
- ごあいさつ  
清湧会ホームページのご案内  
住所異動のご連絡にご協力ください! …… 4
- 活躍する部活動…………… 5
- 2回生還暦記念同窓会レポート  
「集まれば、あの頃のまま」…………… 6・7
- 清湧会からのお知らせ…………… 8



44回生  
入会おめでとうございます!

# ■ 同窓会会則

(名 称)

第1条 本会は兵庫県立明石清水高等学校同窓会と称する。

(事務所)

第2条 本会は事務所を兵庫県立明石清水高等学校（以下母校）内に置く。

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦を図り、母校の向上発展に寄与することを目的とする。

(会 員)

第4条 本会の会員は次の通りとする。

- (1) 正 会 員 - 母校卒業生、または、母校に1年以上在学したもので、役員会の承認を経たもの。
- (2) 準 会 員 - 母校在校生
- (3) 特別会員 - 旧・現職員（正会員はのぞく）、または、本会の特別関係の深いもので、役員会で推薦したもの。

(役 員)

第5条 本会の役員は、会長1名、副会長2名、会計2名、監査2名、常任理事若干名、書記2名、顧問若干名、理事若干名、幹事若干名とする。

(役員を選出)

第6条 本会役員を選出は次の通りとする。

- (1) 幹事は、卒業時の各クラスから2名選出する。
- (2) 理事は、幹事の中から各回生毎に選出される代表幹事2名をあげ、校内理事（母校在職中の正会員）を加える。
- (3) 常任理事は、理事又は正会員の中から選出し、校内理事を加えるものとする。
- (4) 会計は、会長が委嘱し、役員総会の承認を得るものとする。
- (5) 会長・副会長・監査・書記は、役員会で正会員の中より選出する。
- (6) 顧問は、母校校長及び、特別会員中から若干名と、旧会長、副会長及び役員総会で推薦した者を会長が委嘱する。

(役員の仕事)

第7条 本会役員の仕事は次の通りとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、本会の会務を統轄する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その任務を代行する。
- (3) 常任理事は、本部会務をつかさどる。
- (4) 理事は、会務を管掌し、本部と回生別会との連絡にあたる。
- (5) 幹事は、回生別会の会務をつかさどる。
- (6) 会計は、本会の会計事務を担当する。
- (7) 監査は、本会の経費の監査を行い、本会の財政を管理する。
- (8) 書記は、本会の記録を担当する。
- (9) 顧問は、本会の重要事項について相談を受ける。

(役員任期)

第8条 本会役員任期は次の通りとする。

- (1) 会長・副会長・常任理事・理事・会計・監査・書記は2年間とし、顧問及び校内理事は1年間とする。ただし、再任することが出来る。幹事の任期は原則として終身とする。
- (2) 役員はその任期の満了後も、後任者の就任するまではその任務を行う。
- (3) 役員に欠員の生じたときは、補充し、その任期は、前任者の残存期間とする。

(事 業)

第9条 本会は目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員の集會
- (2) 会誌・会員名簿の発行
- (3) 会員の互助及び慶弔
- (4) 母校の後援
- (5) その他目的達成に必要な事業

(会 議)

第10条 本会は次の会議を行う。

- (1) 総会は、役員総会で必要と認められた場合に開く。
- (2) 役員総会は、本部役員と各回理事によって構成され、総会を代行し、毎年1回母校で開き、議事を審議し役員を選任を行う。議決は、出席役員数の過半数でこれを決する。必要あるときは、会長、または理事の提案により、臨時に開くことができる。
- (3) 本部役員会は、会長、副会長、常任理事、会計、監査、書記で組織し、会長が随時招集し、緊急事項を審議する。
- (4) 回生幹事会は、原則として、毎年1回開く。

(会費及び会計)

第11条 本会の正会員は定められた会費を本会に納入する義務を負う。

- (1) 会費は、通常会費と臨時会費の2種とし、通常会費は、準会員として在学中に一定額積立てたものを充当する。
- (2) 臨時会費は、特別出費に際し、会長が役員総会の承認を得て、拠出を求めるとする。
- (3) 会計年度は、毎年4月1日より、翌年3月31日までとする。

(支部準則)

第12条 本会は、会員多数在在の地域には、支部を設けることが出来る。

- (1) 支部を設置するときは、支部会則、会員の氏名、住所、卒業年度を記載した名簿を添えて、役員総会の承認を得ること。
- (2) 支部の名称は、明石清水高等学校同窓会〇〇支部とする。
- (3) 支部は、一定の事務所を設け、支部役員を置き、通信、会計簿の事務を担当処理しなければならない。
- (4) 支部は会員の移動があった時は、直ちに本部に報告しなければならない。
- (5) 支部は、支部の維持に必要な支部会費を徴収することが出来る。
- (6) 支部の規則の変更、または解散等、重要な条件は、役員総会の承認を得なければならない。

(会則の改正)

第13条 会則の改正は、役員総会の決議を得なければならない。

(付 則)

1. 本会則は昭和58年4月1日より実施する。
2. 昭和61年までは幹事が理事を兼ねるものとする。  
(平成3.10.27削除)
3. 平成3年10月27日一部改訂。
4. 平成5年8月8日一部改訂。
5. 平成20年9月27日一部改訂。
6. 令和4年10月30日一部改訂。

## 1. 本部運営活動細則

第1条 会議参加に伴う補助について

同窓会活動に伴い各種会議（役員総会、本部役員会、同窓会入会式 など）及び公式会議への参加時には参加費、交通費及び食費を含めて以下の補助を行う。

対象者：同窓会正会員

補助額：一律（一人）2,000円

補 足）参加費・交通費・食費が上記を超える場合は、その不足分について旅費規程に準じて実費を支払う。

## 2. 母校後援活動細則

第1条 クラブ活動に対する記念品授与について

学校指定のクラブ活動において、近畿大会レベル以上の大会出場チームに対して記念品の授与を行う。

対象者：大会出場のエントリーメンバ

記念品額：1個 上限2,000円

第2条 クラブ活動に対する交通費補助について

学校指定のクラブ活動において、近畿大会レベル以上の大会出場チームに対して交通費の補助を行う。（クラブ顧問へ支給し分配）

対象者：大会出場のエントリーメンバ+マネージャ2名

補助額：一律（一人）2,000円（交通費・食費含む）

補 足）交通費が上記を超える場合は、その不足分について上限10,000円を限度に補助を行う。ただし領収書は必ず必要とする。

## 3. 慶弔規定

第1条 同窓会員への慶弔金に関しては、この規定を定めることとする。

第2条 この規定で慶弔金とは、次の2種類をいう。

- 1) 弔慰金
- 2) 災害見舞金

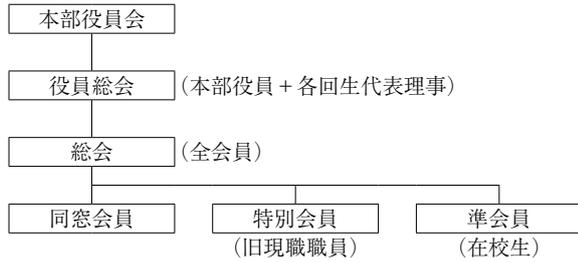
第3条 同窓会正会員・準会員・特別会員が死亡したときは、弔電を行い、供花を贈与する。

- 1) 供花 1基

第4条 同窓会準会員が火災その他不慮の災害のため、相当の被害を受けた時、次のとおり災害見舞金を贈与する。

- 1) 火災 全焼 50,000円
- 2) 震災 全壊 50,000円

(同窓会組織)



#### 4. 旅費規定

第1条 この規程は、本部運営活動細則第1条の規定に基づき、会員に対し支給する旅費の取り扱いについて、必要な事項を定めることとする。

第2条 旅費は会長が招集する本会の会議並びに会長が指定する本会業務のための旅行費用及び参加費を支給する。

第3条 旅行命令は会長の要請または会議などの開催通知をもってする。

第4条 交通機関は原則として公共交通機関を利用することとし、もっとも経済的な経路および方法によるものとする。交通費の計算において、起点および終点は自宅とする。

第5条 この規定の改廃は役員総会の議決を要する。

## 役員

### 1. 本部役員

会 長	前田真奈美	常任理事	山添 英敏	寺坂 俊樹	小川洋次郎	
副 会 長	神田 章宏		佐藤健太郎	伊東(桜井)あゆみ	蟹井(前田)智代	糸原 五郎
会 計	枝澤 洋行		浮田 政樹	千住 啓介	岡崎(武甕)真央	川上(花房)祥子
監 査	柴田 成久			小西(西村)陽子		
書 記	泉 由香			校内理事	日置 貴之	長谷川弓七子

情報委員長 (佐藤健太郎) / 企画委員長 (千住 啓介)

### 2. 各回生理事

1回生	青木 裕	山田 裕次	23回生	村上(石井)愛子	中尾 勇介
2回生	石地 大介	前田真奈美	24回生	龍田 光一	長尾 好恵
3回生	下村(大野)智子	田邊 健一	25回生	西村 陽子	岡田 直樹
4回生	長田江美子	檜原 篤尚	26回生	長濱 訓由	下道(香西)友紀子
5回生	西宮 智	山根(吉田)美香子	27回生	岩田 和浩	小林 優子
6回生	木村(田畑)紀子	橋本 英治	28回生	岡 大佑	西田 有希
7回生	関山加奈子	柏木 章宏	29回生	沖 由里菜	迫田 浩輝
8回生	井澤 正人	三谷 味記	30回生	吉田 悠希	竹田 未央
9回生	出口真奈美	赤松 亮輔	31回生	水澤瑛莉子	山口裕太郎
10回生	岩崎 大樹	大森(塩川)千晶	32回生	横山 夕貴	繁田 英樹
11回生	河合 康信	菊田(森永)早苗	33回生	竹田 和城	鹿嶽 優彩
12回生	高山(結城)真由美	横田 敦	34回生	芳田あすか	大崎 潤人
13回生	幸田(大永)真理子	澁谷 大地	35回生	竹田 雅敬	森田 春季
14回生	松山 英樹	高島(谷本)恵美	36回生	南隅 脩吾	卜部 真緒
15回生	打越 康德	二星(齋藤)絵美	37回生	山端 涼矢	井澤 李音
16回生	齋藤 美晴	豊田 太一	38回生	高井 一希	松本 瑞樹
17回生	大土井宏和	秋山(上垣)恵美	39回生	西田 直生	中吉妃美希
18回生	山崎 陽平	川島(寺嶋)めぐみ	40回生	川口 凌摩	田宮 紀晶
19回生	羽山 純平	川上(花房)祥子	41回生	水田 康生	下畝百合華
20回生	石生 正美	伴ノ内啓多	42回生	深谷 玲蘭	千田 彩葉
21回生	川上 真幸	眞野(千草)優子	43回生	上坂 亮輔	中村 心愛
22回生	浮田 政樹	増本 恵	44回生	多賀 翔舞	武田 理來

### 3. 44回生 同窓会クラス幹事

(44回生卒業生数 男178名、女118名 合計296名)

3-1 武崎 寛幸	小川 真央	3-4 安部 陽希	小野 花	3-7 多田 昂生	菅原 美空
3-2 西濱 悠翔	大久保綾音	3-5 杭田 遼人	庄谷みらい	3-8 多賀 翔舞	山根 梨央
3-3 船田 瑞貴	梅本 香穂	3-6 吉見丈四郎	武田 理來		

### 4. 同窓会会員数

合計 15,412 名 ※ 44 回 (令和 8 年卒) までの件数です。

## 卒業生のみなさん

同窓会長 前田真奈美（2回生）



44回生の皆さん、ご卒業、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。校門を出た瞬間から、皆さんの時間はそれぞれの速度で流れ始めます。早足で駆け抜ける日もあれば、立ち止まりながら確かめる日もあるでしょう。けれど、どの道を歩いても、皆さんの胸のどこかに、あの学び舎の風景は灯のように残り続けます。本日より皆さんは、明石清水高等学校同窓会 清湧会の新しい仲間です。その灯を絶やさぬための「縁」を、私たちは大切に育ててまいります。

私たち第2回卒業生は昨年、還暦同窓会を開きました。恩師と卒業生あわせて100名が集い、会場は笑い声の波で満ちました。驚くほど鮮やかに、あの頃の自分たちがよみがえったのです。「光陰矢の如し」という言葉が、こんなにも実感をもって胸に刺さる日が来るとは思いませんでした。卒業後42年——その年月は、数字にすれば確かな重みを持つはずなのに、顔を合わせた瞬間、私たちは昨日「またね」と手を振って別れたばかりのような気持ちになりました。時間は遠ざけるだけではなく、時に静かに距離をたたみ、心を同じ地点へ連れ戻してくれるのだと知りました。

そして、もうひとつ。高校時代にはうまく話せなかった同級生と、気づけば自然に言葉を交わしている自分がいました。ぎこちなさの代わりに、互いの歩んできた道の分だけ、相手の言葉を受けとめる余白が生まれていたのかもしれない。仕事のこと、家族のこと、夢の続き、忘れられない失敗、胸の奥にしまってきた思い——それらが、笑いにまぎれて、あるいは沈黙の間を伴って、そっと差し出される。時間の経過というのは、ただ老いを運ぶのではなく、人の心を丸くし、角を削り、言葉の温度をやさしくしてくれるものなのだと感じました。私たち

がそれぞれに経験してきたものが、会話の底に静かな深みとなってたたえられていたのです。

「総合選抜」という仕組みの中で高校に進学した私たちは、それぞれ胸に抱えた思いがあったはず。正直に申し上げれば、私自身、入学当初は不本意な気持ちを拭いきれませんでした。けれど3年間を過ごすうちに、教室の空気、友の声、行事の熱気、恩師の言葉が、少しずつ私の内側に沁み込み、いつのまにかこの学び舎は、ただ「通った学校」ではなく、私の人生の基調をつくった場所だと感じています。そして卒業の頃には、その日々の一つひとつが静かに積み重なり、母校を母校として誇りに思う気持ちへと、私の中で形を変えていきました。

昨年の還暦同窓会で、卒業後42年という時の厚みを前にしながらも、私たちが昨日の続きのように笑い合えたのは、きっとこの「基調」が、今も変わらず胸の奥で鳴っているからなのでしょう。時間は遠ざけるだけではなく、言葉をやわらげ、心をほだき、人と人をもう一度つなぎ直してくれる——そんなやさしさを、あの場で確かに受け取りました。

どうか皆さんも、これから先の歩みのなかで、ふと母校を思い出す瞬間があれば、気負わずに同窓の輪へ戻ってきてください。関わり方は人それぞれで構いません。けれど同じ学び舎を原点とする縁は、必要なときに静かに支えとなり、次の一步を照らしてくれるはず。皆さんの前途が希望に満ち、健やかで実り多いものとなりますことを心よりお祈り申し上げます。そしていつの日か、同窓会の場で「またね」の続きを、笑顔で交わせる日を楽しみにしております。

## 清湧会ホームページ

<https://shimizu-hs.net/>



清湧会では卒業生の親睦や母校支援の情報発信の拠点として公式ホームページを開設しています。2022年春にリニューアルしました。

卒業生の近況や母校の活躍などを随時掲載していきます。卒業生（会員）が多くの情報を共有する場として、懐かしい友だちとの話題を提供する場として、また定期的に訪れたいようなホームページにしたいと考えています。さまざまな企画を検討しています。

「こんなページがあればいいな」「あんな情報を載せてほしい」などのご提案がありましたら、ホームページから問い合わせください。皆さんの意見を取り入れて、さらに良いホームページにしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします！

清湧会フェイスブックもあります。日頃の活動等を少しずつですが発信していきます。ぜひ、登録してください。  
[https://www.facebook.com/AkashiShimizu?notif\\_t=fbpage\\_fan\\_invite](https://www.facebook.com/AkashiShimizu?notif_t=fbpage_fan_invite)



### 同窓会事務局へのお問い合わせ

同窓会への皆様のご意見、ご要望は、学校内同窓会事務局まで、ご連絡ください。



お問い合わせ

078-947-9811（明石清水高校事務局）

## 住所異動のご連絡にご協力ください！

同窓会では毎年、各種ご案内を郵送しておりますが、宛先不明で返送されるケースが増えております。住所異動をされた方は、**下記①②のいずれかの方法にて**ご連絡くださいますようお願いいたします。

### ①清湧会ホームページ

URL : <https://shimizu-hs.net/>

ホームページのトップページ左の「連絡先（住所・氏名）変更フォーム」よりご送信ください。



### ②小野高速印刷(株) 同窓会支援事業部

(ISO、プライバシーマークを取得)

〒670-0933 兵庫県姫路市平野町62

フォームメール :

[https://ssl.dousou.info/contact\\_mb/](https://ssl.dousou.info/contact_mb/)

メール : [meibo@dousou.info](mailto:meibo@dousou.info)

TEL : 079-281-8837 FAX : 079-281-8839

(学校名を必ずご記入ください。)

# 活躍する部活動

## 陸上部



## 水泳部



## 男子バレーボール部



## 柔道部



## 将棋部



## 美術部



### 令和7年度 全国・近畿大会出場クラブ

#### 陸上部

- 第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会 出場  
男子100m 大浦 文太  
男子800m 豊村 宏太  
男子400mハードル 佐野 悠真
- 秩父宮賜杯第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 出場  
男子100m 大浦 文太
- 第58回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会 出場  
男子400m 佐野 悠真
- 第19回U18陸上競技大会  
男子800m 豊村 宏太  
男子300mハードル 佐野 悠真

#### 男子バレーボール部

- 第11回近畿ビーチバレーボールジュニア大会 出場  
石井 颯真・赤松 悠斗

#### 水泳部

- 第79回近畿高等学校選手権水泳競技大会 出場  
女子100m背泳ぎ 橋本 美織

#### 柔道部

- 第67回近畿高等学校柔道新人大大会 女子団体戦 出場  
荻野帆乃花・藤田りのあ・瀧田 柗莉・黒木 風南

#### 将棋部

- 第49回全国高等学校総合文化祭 将棋部門 出場  
山本 佳奈 ベスト16
- 第45回近畿高等学校総合文化祭 将棋女子個人戦S級 出場  
山本 佳奈
- 第34回全国高等学校文化連盟将棋新人大大会 出場  
山本 佳奈

#### 美術部

- 第49回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 デザイン  
出品 藤本明日香
- 第45回近畿高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 デザイン  
出品 柳田 詠美



## 「集まれば、あの頃のまま」

喜春B

明石清水高等学校2回生  
還暦同窓会  
開催



2025年11月9日、明石グリーンヒルホテル明石にて、第2回卒業生の還暦同窓会を開催しました。参加者は卒業生と恩師を合わせて総勢100名。受付が始まると、名札を確かめては笑みがこぼれ、久しぶりの再会に手が伸び、あちこちで挨拶の声が多くなりました。開会前からすでに、会場には明るい熱気が満ちていました。「久しぶり」「元気だった？」の短い言葉が次の話題を連れてきて、近況報告があっという間に始まる——そんな立ち上がりの早さも同窓会らしい光景でした。

今回の大きな出来事は、恩師6名にご臨席いただけたことです。本田正身先生、城水重敏先生、正木一雄先生、木村優子先生、鈴木豊子先生、古橋右織先生をお迎えし、先生方のお話が始まると、会場の空気は自然と引き締まり、続いて笑いも広がり、先生方の変わらぬお言葉に背中を押されるように、会場のあちこちで当時の出来事が語られ、卒業生同士の会話もいっそう弾んでいきました。記憶の糸がほどけていくように当時の話題が続き、写真撮影の列が自然にできるなど、終始なごやかな時間となりました。

歓談の時間が始まると、テーブルごとの区切りはいつのまにか薄れていきました。席を移しながら挨拶する人、同じ部活動の仲間を見つけて輪ができる人、思いがけない組み合わせで話がつながっていく人。小さな輪が生まれては広がり、また別の輪ができる——そんな動きが会場のあちこちで繰り返されていました。近況報告だけでも十分に話題はありますが、そこへ高校時代のエピソードが重なり、会話は自然に膨らんでいきます。集合写真の前後にもあちこちでカメラが向けられ、「あとで送るね」のひと言が行き交い、記録がどんどん増えていく一日となりました。

また、高校時代にはあまり言葉を交わす機会がなかった同級生同士が、いまはごく自然に会話をしている——そんな光景も多く見られました。互いが重ねてきた経験の分だけ話の幅が広がり、相手の言葉を受け止める余裕も生まれているのかもしれない。今だから共有できる話、今だから笑える話があり、それが会全体の雰囲気をもっと明るくしていたように思います。

一次会終了後、同会場で行った二次会には、当初予定の二倍のメンバーが集まりました。帰り際の「もう少しだけ」が重なって席が動き、会話が続き、また誰かが合流する。そんな流れのまま、時間が進むほどに場がいっそうにぎやかになっていきました。時間はいくらあっても足りず、話したいことは尽きることなく続く——二次会は、まさにそれを実感する場となりました。

会の締めくくりには、「次は4月のお花見で再会しよう」という声が多くなり、再会の約束とともに散会となりました。現在、幹事一同は4月のお花見に向けて準備を進めています。



さらに、還暦の節目を形に残そうと、オリジナル記念品も作りました。赤い布地に「60」と王冠のマーク、そして「HAPPY SIXTY SHIMIZU」。袋を開けた瞬間に「おっ」と声が出るような、ちょっと嬉しい仕上がりです。会が終わってからも、ふと目に入ったときにあの日の空気がよみがえる——そんな存在になってくれたらと思います。



## 出席者からの声

まずは企画・運営してくださった方々に感謝です。

今回は3年のクラス毎のテーブルだったのが良かったです。卒アルのクラス写真も添えてあったのも。できたら1・2年のクラスへの席替えタイムがあると、これまた楽しかったかもしれません。

2回生の私達、卒業して42年半。何と還暦同窓会を開くことができました！

8クラス約350人の学年のうち、約100名が集まり、先生方にも6人ご参加いただき、懐かしい皆さんとお会いできて、本当に楽しいひと時を過ごせました。

すぐに誰かわからない人もいましたが(笑)、話しだすと、すぐに高校時代に戻ったような感覚になりました。クラスごとに座り、学校にまつわるクイズで楽しんだり、校歌を歌ったりして、あっという間の時間でした。

実は開催の運営側のお手伝いをさせていただきましたが、オンラインで何回も行った打ち合わせもまた楽しく、たくさん参加いただけるか心配でした。ところが結果は、3分の1に近い方からお申し込みがあり、大成功でした。

同じホテルの別部屋での二次会にもそのままたくさん残って、クラスを超えていろんな人とお話もでき、LINEでもつながることができたので、また次回の開催もできそうです！

また、同窓会(清湧会)からも補助金をいただけたようで、ありがとうございました！



3年7組



3年8組



今回の同窓会をきっかけに、第2回卒業生のLINEグループを立ち上げました。現在、112名が参加しており、近況報告や写真の共有、次回の集まりに関する情報交換など、日々やり取りが広がっています。ここで、そのLINEグループ内で交わされた温かなメッセージや、思わず笑みがこぼれる一言を、いくつかご紹介したいと思います。



昨日は楽しい会をありがとうございました。幹事の皆様にはほんとうに感謝いたします。🍷  
厚かましくも少しの間、高校生の頃に戻ったようでした😊  
沢山のお写真もありがとうございます。🌸



本日はありがとうございました。このライングループにも参加できてうれしいです。幹事の皆様、ありがとうございました。



刺繍入りのハンカチもありがとうございました😊



写真を見て楽しんでいます。



出席できず残念でしたが懐かしいです。



クラス集まるとマイクで壇上に呼べなくて写ってない方もいると思います。すいません😓  
雰囲気思い出して頂けたら幸いです。



先日はお疲れさまでした。幾つになっても同級生っていいですね😊  
まなちゃん始め幹事の皆様、有難う御座いました。  
大屋君、素敵な動画ありがとう🍷

# 清湧会からのお知らせ



## 1) 学年同窓会開催サポート

「同窓会を開いてみたい」と思ったら、ぜひ清湧会へご相談ください。清湧会では、学年同窓会の開催をサポートしています。

### 清湧会ができること

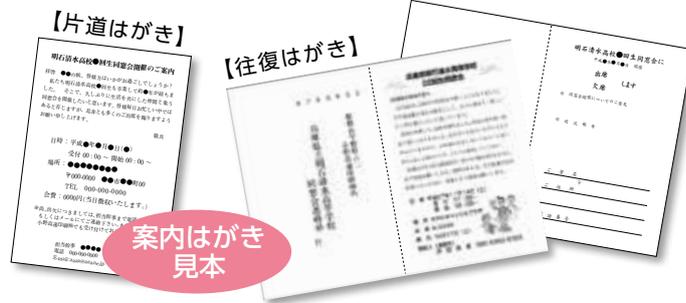
- 開催に向けた相談・段取りのサポート  
会当日までに「何を・いつまでに」行うかを整理し、準備を具体的にお手伝いします。
- 学年同窓会に限り補助金の支給  
条件に合う学年同窓会には、補助金制度があります（詳細はお問い合わせください）。
- 案内状など印刷物の手配
- 案内状・返信はがき等は、小野高速印刷へ依頼できます。

### 参考：開催までの主な流れ（例）

- 幹事チームの決定／開催の目的・規模の確認
- 日程・会場の検討、概算予算の作成
- 参加者への案内（案内状作成・発送、出欠管理）
- 当日の進行（受付、席次、プログラム、記念撮影など）
- 会計・精算、必要書類の整理（補助金申請がある場合）

### 【お問い合わせ】

shimizu.seiyukai@gmail.com



## 同窓会開催報告 (29回生学年同窓会) (22回生学年同窓会)



## 2) 清湧会ホームページのご案内

清湧会ではホームページを開設しております。行事の案内や活動報告などを随時更新してまいりますので、ぜひご覧ください。

【清湧会ホームページ】 <https://shimizu-hs.net/>



令和8年2月発行

- 発行者 清湧会（兵庫県立明石清水高等学校同窓会） 代表者 前田真奈美（2回生）
- 事務局 〒674-0074 明石市魚住町清水630番地の1  
兵庫県立明石清水高等学校内（担当：松本） TEL (078)947-9811